

知っておきたい キーワード

KEY WORD

AX (AIトランスフォーメーション)

近年、生成AIをはじめとする人工知能（AI）の技術革新が急速に進展しています。これまでAIは、一部の専門分野における分析や予測業務などに活用されるケースが中心でした。しかし近年は、文章作成や情報検索、画像生成など幅広い業務で活用できる生成AIの普及により、AI活用の裾野が大きく広がっています。こうした中で注目されているのが、「AX（AIトランスフォーメーション）」です。一般に、AXとは、AIを活用して業務や組織、事業モデルを変革し、新たな価値創出につなげる取り組みを指します。政府も成長戦略としてAXを重視し、AI・ロボティクス・半導体などへの官民投資の拡大を進めています。

AXが注目される背景には、人材需要と供給のミスマッチや人口減少などによる労働力不足や、物価高・人件費の高騰、目まぐるしく変化する市場環境などが挙げられます。企業をめぐる環境が厳しさを増すなか、限られた経営資源の効率的な活用が求められています。AIは文章作成や情報整理だけでなく、データ分析や需要予測などを通じた意思決定の支援、機械や設備・ロボットの自律的な制御なども可能です。現場の省力化・経営判断の高度化の手段として、より多くの企業でAIの活用が広がっています（図表1）。

実際の企業活用をみると、生成AIを活用した文書作成補助や議事録作成、問い合わせ対応などによる業務効率化が進んでいます。また、製造業では設備の異常検知や品質管理、小売業では需要予測、物流業では配送計画の最適化など

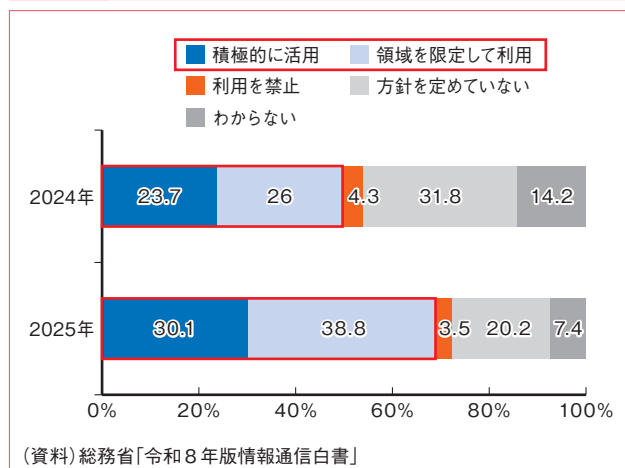
にも利用されています。さらに、工場や物流施設ではAIを活用したロボットや自動搬送設備の導入が、現場作業の省力化や人手不足への対応につながっています。AIの活用を通じて企業の競争力強化や事業変革を実現することは、AXの重要な目的です。

地方経済の発展においても、AXは注目されています。経済産業省「2040年の就業構造推計（改訂版）」によると、2040年のAI・ロボット等利活用人材を含む専門職は、首都圏を除くほぼ全ての地域で不足する見込みとなっています（図表2）。経済産業省は「地方発AX」を掲げ、地方・現場人材の育成強化に取り組むとともに、AXによる地方の中堅・中小企業の経営改革支援を進める方針です。加えて、GX・半導体・データセンター・脱炭素電源など、地域ごとの戦略産業クラスター形成を推進する計画です。これにより、人手不足への対応や生産性向上、産業の創出などを通じた地方経済の活性化が期待されています。

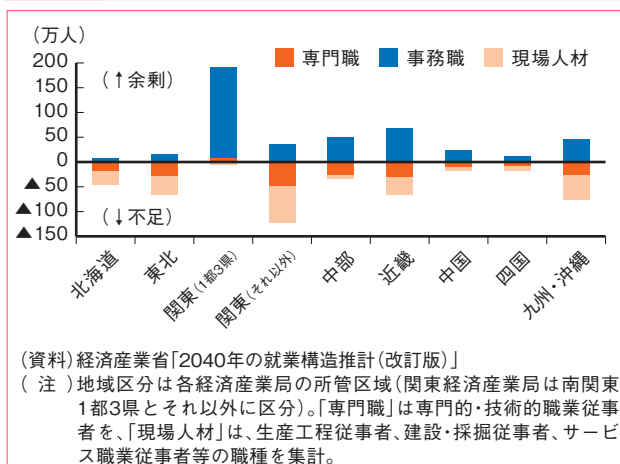
一方で、AIが出力する情報の正確性の検証や情報漏洩対策、著作権・倫理面への配慮など、新たな課題への対応も求められています。今後は単にAIを導入するだけではなく、AIを活用してどのような価値を生み出し、組織や事業を変革していくかが重要になるでしょう。AXは企業の競争力を左右する重要な経営課題であるとともに、私たちの働き方や社会のあり方にも大きな影響を与える概念として、ますます注目されると考えられます。

三十三総研 調査部 研究員 堤 貴裕

図表1 企業等における生成AI活用方針の策定状況



図表2 地域・職種別受給ミスマッチ数(2040年推計)



キーワード